

選択日本語B		講義	非常勤講師 高橋 直美	
科目カテゴリー	国際ビジネス学科の必修科目	科目ナンバリング	21100204	

### 1. 授業のねらい・概要

本講義は選択日本語Aで習得した日本語力をレベルアップさせ、レポートや論文、手紙やメール文などの作成の基礎を学び、日本語の文章がきちんと書けるための学修をする。

そして、国際ビジネス学科のディプロマシーである「(2) 様々なビジネスの現場において必要とされる実践的な能力を有する。(3) 修得した知識・技能をもとに、論理的に考える力やコミュニケーション力を活用することで、社会人としての高い基礎力を有する。」に基づき、社会人にふさわしい日本語でのコミュニケーション力を習得する。

### 2. 授業の進め方

授業計画に沿ったプリントを配布する。授業は基本的に講義形式であるが、練習問題を利用して受講生に問題を解いてもらい、その後解答の提示と説明をする場合もある。毎回、質疑応答を重視し、受講生の理解度を確認しながら進める。

### 3. 授業計画

1. 日本語の文法についての復習	9. わかりやすい語順
2. 日本語の文章を作成するための約束事	10. 段落分け
3. アカデミックワードと日常語	11. 文のねじれとその対策
4. 仮名遣いについて	12. レポートや論文の構造
5. 句読点について	13. 序論の書き方
6. 漢字の使い分け	14. 本論（論拠・結論）の書き方
7. 見やすい表記のしかた	15. まとめの書き方とまとめの試験および解説と解答
8. あいまいな文	

### 4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

復習：前回の授業内容を、配布プリントやノートを使って復習しておく（45分）。

予習：授業の終わりに次回のプリントを配布するので、熟読し、問題を解いておく（45分）。

### 5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

試験問題の解答のポイントや出題意図、正解を試験終了後に説明する。

### 6. 授業における学修の到達目標

1. 正しい日本語の表記ができる。
2. 日本語の文章が書ける。
3. レポート・論文の書き方が理解できる。

### 7. 成績評価の方法・基準

授業への取り組み姿勢（20%）および定期試験の結果（80%）によって評価する。

### 8. テキスト・参考文献

プリントを使用する。参考文献は適宜紹介する。

### 9. 受講上の留意事項

授業で学んだ日本語は日々の生活でぜひ実践すること。また、日々の生活で疑問に思った日本語表現等についても質問して構わない。

**10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無**

該当しない。

**11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連**

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。